

令和3年度 5-⑤

# 大村市 認知症基礎講習会



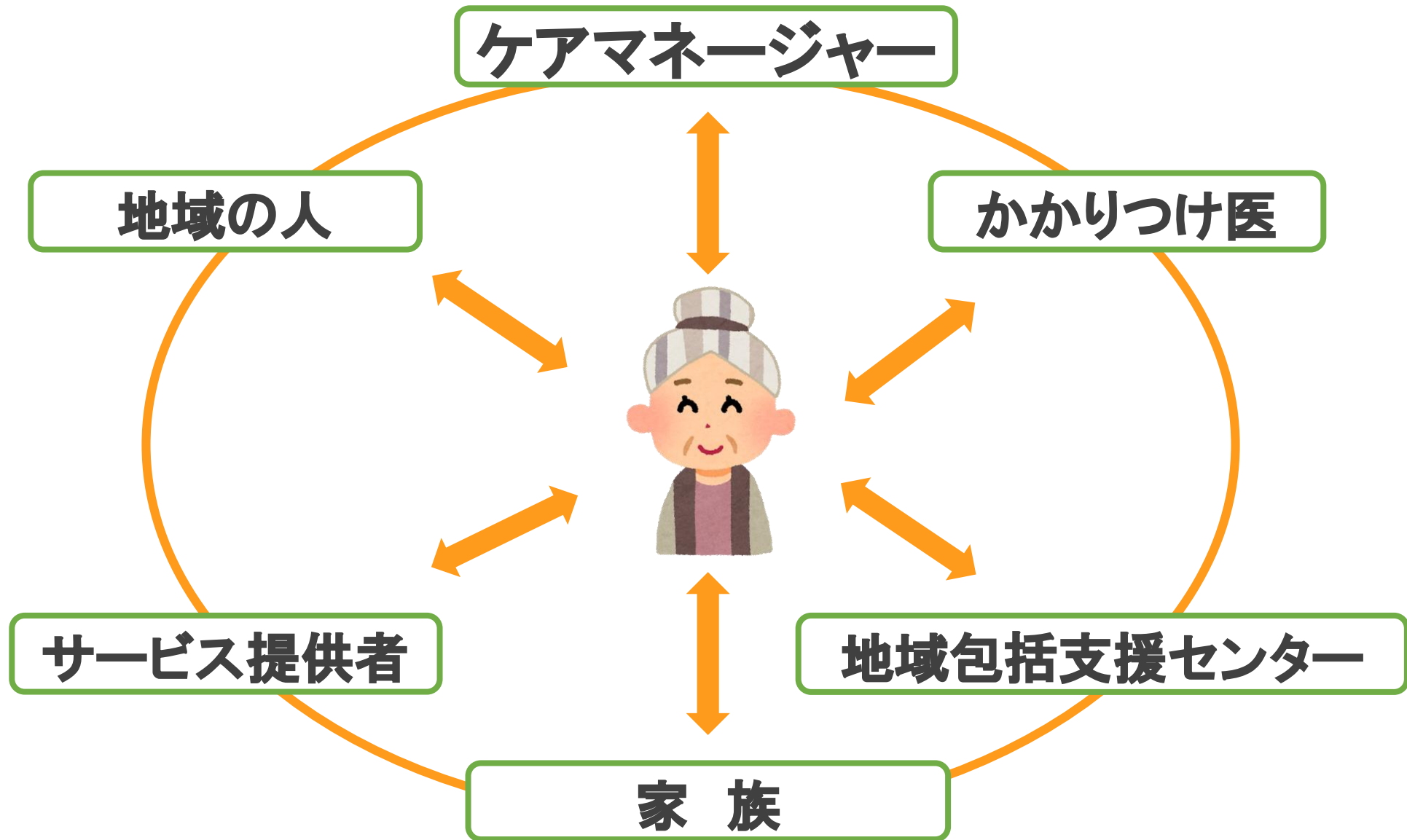
令和3年12月13日

# 令和3年度 大村市認知症基礎講習会

## ～認知症の人の在宅生活を 支える多職種連携～



中澤病院 中澤 和嘉



# 連携する人の共通認識



- ① 認知症は加齢に伴う病気であり、早期発見・早期治療が有効
- ② 進行し、行動・心理症状としてのBPSDを伴う
- ③ 判断力や理解力の障害により、金銭問題・虐待・介護放棄などが起こりやすい

# 連携の基本は職種間での情報交換

- ① 情報交換することで問題点を共有
- ② ケアマネージャーの周知
- ③ ケアマネージャーが情報交換の中心となり、多職種の情報を集め把握する



# 家族の役割



- ① 認知症の病気を理解し優しく接する
- ② 介護サービスを利用してゆとりを持つ
- ③ ケアマネージャーと交流して、困っていることを気軽に相談、ケアマネージャーから家庭での状況を発信してもらう

# かかりつけ医の役割

- ① 早期の診断と治療の開始  
家族やケアマネージャーから情報収集
- ② 在宅生活の支援として、主治医意見書に  
BPSDの記載、介護やケアプランのアドバイス

- ③ 専門医との連携



# ケアマネージャーの役割

① ケアプランの作成

② 介護保険の給付管理等

③ 定期訪問とモニタリングの重要性

虐待や介護放棄はないか、サービスの実施、本人や家族の要望、サービス提供者の意見、ケアプランの目標は達成できているか





# 行政(地域包括支援センター)の役割

① 介護予防ケアマネジメント業務

② 権利擁護・虐待の発見と防止

家庭内だけではなく施設でもあり得る

発見者は地域包括支援センターに連絡を

③ 総合相談・ケアマネージャーへの支援等



# 地域の人々の役割



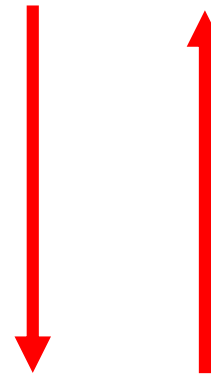
- ① 認知症の人の発見と見守り  
民生委員や町内の皆さん ⇄

地域包括  
支援センター



- ② 家族への支援

- ③ 虐待や介護放棄の予防  
周りの協力がないと発見につながらない



# サービス提供者の役割

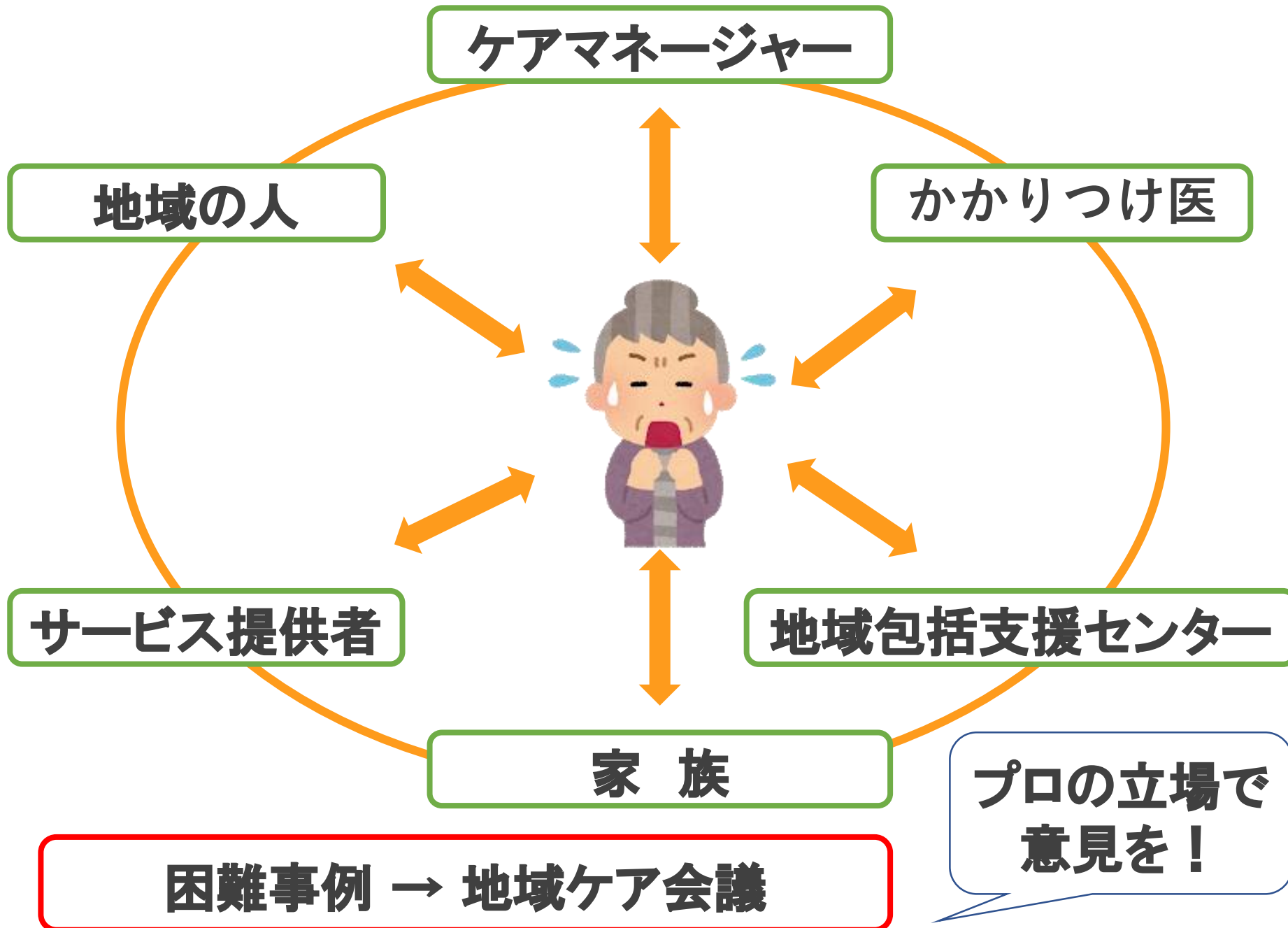
① 家族の介護負担の軽減

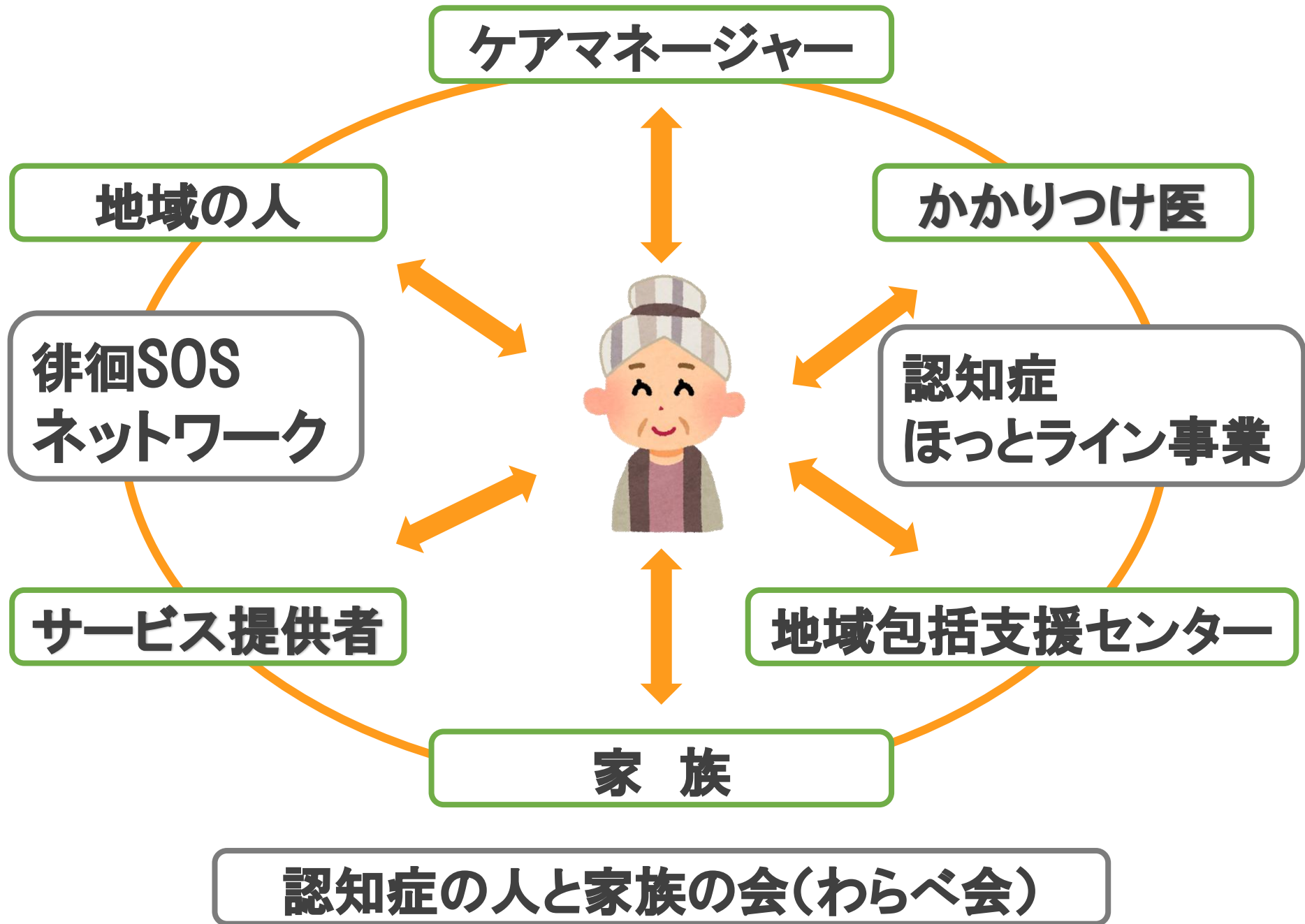
② 安心できる場所の提供

③ かかりつけ医への情報提供

受診時は職員が付き添ったり、メモを持たせて  
情報提供する







# 認知症の進行に伴う課題

- ① 本人の意思をどこまで尊重するか？
- ② 合併症の治療と家族の理解  
治療にはリスクが伴い、理解と了解がないと  
リハビリも虐待となりかねない  
進行したら安らかに見送るという考えも

- ③ 家族間での意見の対立



# 認知症から学んだこと



- ① 認知症は誰でもかかる  
生老病死は人の定めであり他人事ではない
- ② 育てた様に子は育つ:親の成績表かも
- ③ 元気なうちは地域の人と仲良く交流



# 受講大変お疲れ様でした

これで、認知症基礎講習会の単元全て修了です。

①～⑤全て修了された方は、資料に付いていた

「アンケート」をご記載の上、地域包括支援センターまでFAXをお願いします。

